

平成28年7月28日

長野県弓道連盟

会長 外薮公毅

弓士各位

お知らせ

梅雨も明け、猛暑が続いていますが、弓士の皆様におかれましてはご清祥にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

日頃は県弓連事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

下記の件、お知らせ致します。周知の程、お願い致します。

1. 理事1名欠員の件

5月に東信地区推薦理事 今井康人先生がお亡くなりになりました。東信地区副会長 山浦博先生初め他地区副会長と相談し、今年度は補充せず1名欠員のままとします。

2. 県立武道館について（武道連絡協議会弓道連盟幹事の変更）

平成22年長野県武道10団体は、17万余の署名を添えて「県立武道館の早期建設を求める要望」を長野県知事・教育長に提出し陳情が行われました。

平成24年には、武道館立地場所として佐久市が老朽化による武道館建て替えに合わせて県立武道館建設誘致の要望書を県武道連絡協議会に提出しました。

平成27年には武道館設置に向け、その機能、規模等の基本的な事項を検討するため「県立武道館構想検討会議」が設置され、他県の武道館の視察等を行い検討がなされてきました。その報告書が27年11月に出されました。その中で初めて弓道場は武道館建設構想から外されていることが分かりました。県弓道連盟としては問い合わせや質問書を提出して県の考えを問いましたが、飯田市に既存の県立施設があり、武道館に弓道場が建設されれば2つの施設を維持するには県の行財政運営の観点から負担となるため県営飯田弓道場は廃止の可能性が高いとの説明がありました。

「検討会議報告書」を踏まえて県は基本構想を策定し、今年5月に基本構想が発表され新聞にも掲載されました。やはり弓道と相撲は既存の県立道場があるということで佐久市には建設されないと発表されました。

「長野県武道連絡協議会」の各武道団体の幹事は、弓道連盟は理事長が当たってききましたが、今後は飯田市県営弓道場を県立武道館弓道場としての体を成すように活動する必要があります。施設の充実、使用条件の改善等、県と折衝しなければなりません。武道連絡協議会の事務局はおそらく佐久市に置かれると思いますし、会議等は県庁で行われることが多いと考えますと、東信、北信地区から幹事を選出した方が妥当と考え、相談した結果、仁科理事長に替わり平野英孝副会長にお願いし、引き受けてもらいました。

3. 第1回都道府県対抗弓道大会開催について

全弓連より[別紙](#)のように29年度に標題の大会を開催するという通知がありました。選手の選考方法などはこれから検討します。

4. 平成29年度北信越地区国体（福井県開催）の日程について

平成29年度の第72回国体（愛媛県）の弓道競技会日程は9月9日（土）～12日（火）と決定しております。それに伴い福井県から北信越地区国体も7月22日（土）、23日（日）としたいとの提案がありました。関係部署は来年度計画作成等にご配慮ください。

以上